

Japan Association of Dam & Weir Equipment Engineering



一般社団法人 **ダム・堰施設技術協会**

はじめに

一般社団法人ダム・堰施設技術協会は、昭和 61 年（1986 年）4 月 1 日、建設省（現国土交通省）の認可を得て設立し平成 24 年 4 月 1 日、一般社団法人ダム・堰施設技術協会に移行いたしました。

会員の構成は、ダム・堰等に関係の深いゲートメーカー、電気・通信機器メーカー、総合土木建設業、建設コンサルタント等の分野にわたっており、ダム・堰等に設置されるゲート設備・管理設備等に関する調査・研究及び普及の推進を行っております。

また、これまで出版しております各種基準書及び要領書等につきまして、関係省庁の基準改訂や時代の必要性に対応して改訂を行っております。

地球温暖化の影響を受けて、近年は日本でも豪雨の激甚化と水害の頻発が顕著に見られるようになっており、ゲート設備の重要性が再認識されてきております。

本協会は、今後も長年培った知識・経験と幅広い技術力を結集し、広く情報を発信し社会に貢献する所存です。

目 的

本協会は、ダム・堰等に設置される取水・制水・放流設備及びこれらに関連する設備等（以下「施設等」という。）について、ダム・堰等と一体的に建設・維持及び管理するための技術の開発並びに普及を図り、もって我が国経済社会の発展に寄与することを目的としています。

事 業

本協会は、上記の目的を達成するため、定款に定める次の事業を行っております。

- (1) 施設等の設計、製作、施工、維持及び管理に関する調査、研究及び試験
- (2) 施設等の機能保持のための各種の技術的な基準の作成及び普及
- (3) 施設等に関する調査、資料の収集及び編纂
- (4) 施設等に関する研究会、講習会、講演会及び懇談会の開催
- (5) 施設等に関する機関誌等出版物の刊行
- (6) 施設等の技術開発、研究及び試験に関する受託
- (7) 政府機関、地方公共団体及び学術団体等への施設等に関する事項についての協力及び意見の具申
- (8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

組織図



事業の概要

本協会は、ダム・堰等に設置する取水・制水・放流設備等の水門設備と、これに関連する設備を設計、建設、維持管理するための技術の開発や普及を図るため、定款に基づく以下の公益事業等を行っています。

公益事業

調査・研究等事業

- ・ゲート設備の品質・信頼性向上の研究，試験
- ・ゲート設備故障事例及び更新事例の調査
- ・ゴム堰の機能診断・寿命及び耐震性の研究

各種技術的な基準の作成及び普及事業

- ・関係省庁にて制定された各種技術的な基準を運用するための解説書及び要領書を作成しています。
- ・本協会出版図書はもとより施設等に関する技術事項のお問い合わせに回答しています。



研修会開催事業

- ・国内ダム等の建設現場研修会を原則年1回開催しています。
- ・研修会報告は機関誌に掲載しています。

講習会・講演会事業

- ・出版図書改訂時に内容を周知するための講習会等を開催しています。
- ・ダム技術講演討論会を開催しています。
- ・各種機関へ研修講師を派遣しています。

広報事業

- ・機関誌「取水と制水」を原則年1回発行しています。
- ・本協会事業の講習会参加，機関誌の原稿執筆等のプログラムについて継続学習制度（C P D S）の証明書を発給しています。

その他事業

出版事業

- ・現在水門設備等に関する各種技術図書を発行しています。

受託事業

- ・水門設備等に関する調査，研究及び試験等業務を承っております。





tel. 03-3267-0371

〒112-0014

東京都文京区関口1丁目47番12号

江戸川橋ビル3F

fax. 03-3267-0390

E-Mail: dam@river.ocn.ne.jp

地下鉄有楽町線 江戸川橋駅 1b番出口より徒歩0分



一般社団法人 ダム・堰施設技術協会

<http://dam777.ec-net.jp>